

ビジュアルデザイン学科

ビジュアルデザインのさまざまな領域について理解するとともに、そのために必要な技術や考え方の基本を体験的に学びます。それぞれの課題はミーティングで講評するほか、必ず1人ひとりに教員のコメントをつけて返却し、今後のデザインに役立つようにしています。

昨年度例

①鉛筆デッサン

身の回りのものを2、3点選び、自由に構成し、デッサンしてください。

②看板の観察と分析

街にあふれる看板から、優れた看板や楽しい看板、面白い看板など自分で自由にテーマを決めて集めてください。写真に撮ったりスケッチしたりして、なぜそれが優れているのか、楽しいのか、面白いのか、工夫されている点などを考えて見やすくまとめてレポートしてください。

③イラストレーション

イラストによる表現を使って、クリスマスカードをデザインしてください。イラストとともにカードに合うことば(例:Merry X'masなど)を選び、その文字要素をデザインして入れてください。

プロダクトデザイン学科

プロダクトデザインに重要な表現力を身につけたいうえで入学できるように、デッサンや色彩構成などの造形基礎課題に、個々の実力に応じて取り組みます。また、図書や展示会などの紹介を通して、プロダクトデザインに対する興味と知識を深めて欲しいと考えています。

昨年度例

①鉛筆デッサン

表現と観察の基礎である鉛筆デッサンに取り組みました。

②日常の記録

日常生活のなかで気がついたことや不思議に思ったこと、興味を感じたことなどを、自由にクロッキー帳に記録しました。

③卒展見学

自由参加として卒業制作展の見学をし、教員が出展作品を解説しました。

まんが表現学科

まんがを表現しよう、と思う者はまんが以外の表現から多くを学ぶ必要があります。特に日本のまんが表現は欧米に比して、そのストーリーはより、小説的、文学的であり、演出方法は映像的です。この日本に特徴的なまんが表現を学ぶ基礎づくりのため、文字表現や映像表現に触れ、そこから、いかに自分のまんが表現の糧となるイメージを得ていくかがまんがを目指す者にとって重要です。小説・詩あるいは映画などの具体的な作品を示し、そこから受け止めたイメージを数枚のイメージスケッチもしくはまんがの絵コンテにする、という課題を2回、出します。まんがに刺激を受けてまんがを描くのではなく小説や映画から刺激を受けてまんがを描くことで、ストーリー性や文学性に支えられた映像的手法に基づくまんが表現を自分のものにできるのです。

映像表現学科 ◆映画コース ◆アニメコース ◆CGコース

映像表現学科では、多様なメディアを用いてその内容をプロデュースすることを基本としています。そのためには、過去の作品に触れることが重要です。写真、映画、まんが、アニメーションの傑作を見て、その感想を文字、イメージ、図表で表現してもらいます。2回の課題提出を予定しています。課題に対しては、教員がコメントをつけて返却し、今後の学習の参考になるようにしています。

クラフト・美術学科

入学準備プログラムは、大学入学に向けて実力と意欲を高めることを目指して実施しています。各プログラムは、基礎的な造形表現力の養成や、美術・クラフトに関する知識の向上を図る内容となっています。提出課題は、個別に講評文をつけて返却します。

昨年度例

- ①鉛筆デッサン① デッサンを通して、造形表現に必要な観察力と描写力の向上を図ります。10月の大学祭に集合し、講評を行います。モチーフ……タマネギ、白色の布、半分まで水が入った透明ガラスコップ。
- ②鉛筆デッサン② 前回の講評を受けて、デッサン力の一層の向上に取り組みます。講評は、文書で各自に送付します。モチーフ……リンゴ、ティッシュの箱、ステンレスのフォーク。
- ③卒展見学 本学の卒業制作展などを見学します。作品を実際に見ることの大切さを学び、見学を通して仲間や教員とのコミュニケーションを図ります。

ファッションデザイン学科

入学するまでの期間を利用して、入学してからのデザイン実習や演習にスムーズに入れるように、3つの課題が出されます。内容の違う課題は、それぞれに入学後から役立つものです。楽しみながら、基礎力を身につけることができます。

昨年度例

①鉛筆デッサン

鉛筆デッサンの基礎として、モチーフを指定した課題が出されます。モチーフ…卵、ティッシュペーパー(箱)、ガラスのなかから1~2点を選ぶ。

②色彩表現

決められたテーマから自分でタイトルを考え、ポスターカラーなどの水性絵の具を使って表現します。モチーフ…野菜、果物、植物、花のなかから1点を選ぶ。

③映画鑑賞の感想文

指定された3つの映画のなかから1作品を選び、「色彩・衣裳」についてレポートします。映画作品…「アメリカ英雄〜HERO〜」「ALWAYS 三丁目の夕日」のなかから1点を選ぶ。

環境・建築デザイン学科

建築や環境のデザインには、図面や模型による表現力と、ことばによる分析や説明の能力が必要です。そこで本学科の入学準備プログラムでは、この分野の勉強の仕方に慣れてもらえるよう、手と頭の両方を働かせる内容にしています。それまでの学習経験にかかわらず、誰でも楽しめると思います。

昨年度例

①模型制作と見学

大学祭の時に、スタジオを利用して有名な建築について簡単な模型制作を通して学び、大学祭の見学をしました。

②感想文

建築・都市関連の入門書指定し、読書感想文を書いてもらいました。感想文は学科教員が添削し、返却しました。

③卒展見学

卒業制作展の会場にきてもらい、学科教員が案内し、作品解説を行いました。

昨年度例

※旧メディア表現学科で昨年度実施していたものです。

よい作品を制作するためには、これまでに生み出されてきた傑作と呼ばれる作品を多数見ることが重要です。しかし、みなさんはまだ、メディア表現の大海に揉まれる木の葉のような存在です。そこで、確かな道しるべとして、メディア表現学科の教員が選定した非常に重要な作品をリスト化しました(約120作品。写真集、映画、まんが、アニメーション他、文学も含む)。みなさんは、このなかから5作品を2回に分けて、計10作品を選択し、注意深く鑑賞してください。そして、鑑賞した作品に対して、自分のことばで自分の分析や見解を書いてください。思ったことを素直に書いていただければ結構です。1作品800字(1作品につき、同封の原稿用紙4枚使用)とします。課題は2回に分けて、5作品ずつ提出してください。

①課題提出①

10作品のうちの5作品について、課題を提出。

②課題提出②

残りの5作品について、課題を提出。